

抗がん剤に対する制吐療法（催吐性リスク別）

day	高度 催吐性リスク	中等度+ α (オプション) 催吐性リスク	中等度 催吐性リスク	軽度 催吐性リスク
1	プロイメド注(150mg) 1V アロキシ注(0.75mg) 1V デキサート注(6.6mg) 1.5V 生理食塩水 250mL 30分	プロイメド注(150mg) 1V アロキシ注(0.75mg) 1V デキサート注(6.6mg) 1V 生理食塩水 250mL 30分	アロキシ注(0.75mg) 1V デキサート注(6.6mg) 1.5V 生理食塩水 100mL 30分	デキサート注(6.6mg) 1V 生理食塩水 100mL 30分
2	デカドロン錠(4mg) 2錠 2x朝夕食後	デカドロン錠(4mg) 1錠 1x朝食後	デカドロン錠(4mg) 2錠 2x朝夕食後	
3	デカドロン錠(4mg) 2錠 2x朝夕食後	デカドロン錠(4mg) 1錠 1x朝食後	デカドロン錠(4mg) 2錠 2x朝夕食後	
4	デカドロン錠(4mg) 2錠 2x朝夕食後			

PTX を含むレジメンは前投与に下記追加(アレルギー予防)

day	Triweekly PTX (3週毎)	Weekly PTX (1週毎)
1	ラニチジン注(50mg) 1A ポララミン注(5mg) 1A デキサート注(6.6mg) 2.5Vに増量	ラニチジン注(50mg) 1A ポララミン注(5mg) 1A デキサート注(6.6mg) 1Vのまま

アービタックス、サイラムザを含むレジメンは前投与にポララミン注(5mg)1A追加(アレルギー予防)

★【+ α 】の対象は、オキサリプラチン含有、カルボプラチンのAUC4以上、イリノテカンの150mg/m²以上

★内服: 軽度～高度催吐性リスク群に対して「催吐リスク: ○度 必要に応じて制吐剤を処方して下さい。」のコメント記載とする